

DJI AGRAS T10/T30/T25 1キロ粒剤の散布方法について



AGRICULTURE

目次

1

標準形状の1キロ剤テンプレート設定方法について

2

吐出量確認の実施方法について

標準形状の1キロ剤テンプレート 設定方法について



標準形状の1キロ剤テンプレートの設定情報について

標準形状の1キロ剤テンプレートに設定されている情報をご案内します。同じ開度で手動で吐出確認し、吐出量に誤差が発生した場合は、各自で調整し、最適な開度に合わせる必要があります。飛行速度が15km/hおよび20km/hの場合の設定情報は以下の通りです。

1キロ粒剤用のテンプレートの設定方法は後のページでご説明いたします。

※下記の設定値は標準シャッター使用時の情報になります。

機種	対応FW	散布幅	飛行速度	設定開度	目標吐出量
T10/T30	機体：01.00.0605 送信機：01.00.0606 アプリ：5.5.11	5m	15km/h	8.6%	1,250 g /min
T10/T30	機体：01.00.0605 送信機：01.00.0606 アプリ：5.5.11	5m	20km/h	9.5%	1,667 g /min
T25	機体：01.02.0603 送信機：03.05.0408 アプリ：7.2.63	6m	15km/h	8.5%	1,500 g /min
T25	機体：01.02.0603 送信機：03.05.0408 アプリ：7.2.63	6m	20km/h	9.3%	2,000 g /min

1キロ剤テンプレート設定の流れ（M+モードの場合）

1. 操作モード選択画面から手動Mを選択し、離陸してください。
2. 機体がホバリング状態になってから、M+モードに切り替えます。
3. 赤字の**粒剤素材**メニューを選択し、粒剤素材メニューを展開します。
4. 表示されたメニューから「**1キロ粒剤（内蔵） T25 吐出口（大）**」を選択します。
5. 散布設定（散布量、回転数、飛行速度）を行い、開始ボタンを選択すれば完了です。

1キロ剤テンプレート設定の流れ（M+モードの場合）

①②操作モード選択画面で手動モード（M）を選択し、離陸後に機体がホバリング状態になったら、M+モードに切り替えます。

③赤字の粒剤素材メニューを選択し、進みます。

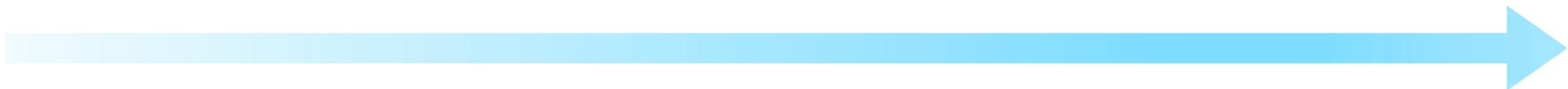


1キロ剤テンプレート設定の流れ（M+モードの場合）

④表示されたメニューから「1キロ粒剤（内蔵）
T25 吐出口（大）」を選択します。



⑤散布設定（散布量、回転数、飛行速度、散布幅）を行い、開始を選択すれば完了です。



1キロ剤時の推奨飛行設定

機種	AGRAS T10/T30	AGRAS T25
散布幅	5m	6m
飛行速度	最大22.5km/h	最大22.5km/h
散布量 (テンプレート使用)	10kg/ha	10kg/ha
作物上の高度	2m	3m
インペラ回転数	600 rpm	600 rpm

吐出量確認の実施方法について



1キロ粒剤の吐出量確認の流れ

1. 粒剤装置からインペラを取り外して、薬剤が飛び散らないように注意します。
2. 吐出口にビニール袋をかぶせて薬剤を受け止めれるようにします。
3. 1キロ粒剤テンプレート設定と同じ開度を調整します。（飛行速度15km/hを想定し、T10/T30の設定開度は8.6%、T25の設定開度は8.5%）
4. 1分間手動吐出を行います。（極端に多かったり、少ない場合は中断します）
5. 吐出を停止し、計量器を使用して重量を測ります。
6. 吐出量が想定重量と誤差が5%未満の場合は、1キロ粒剤テンプレートでそのまま散布可能です。誤差が5%以上発生した場合は、開度調整することが望ましいです。
7. 開度調整は0.5%間隔程度で増減させ、上記の手順で吐出を繰り返して最適な開度を見つけるようにしましょう。

吐出量確認で準備するもの

- 機体一式（機体・送信機・バッテリー・粒剤装置）
- 1キロ粒剤：2kg以上が必要で再利用可能です。
- 計量器：10kg程度まで計測でき、誤差が10g未満の精度が望ましい計量器が必要です。
- ビニール袋：45リットルサイズが使いやすく、厚めのものは破れにくいです。
- ストップウォッチ機能：スマートフォンなどを利用します。
- 台：機体ランディングギアの下に置き、ビニール袋で受けやすくするため※画像参照



dji AGRAS

Thanks.